



重点対策外来種

頭部は小さく体高は高い。緑色の強い婚姻色を発する大型のオス。あわら市産 全長:約8cm

コイ科 バラタナゴ属

【全長】8cm

タイリクバラタナゴ

学名: *Rhodeus ocellatus ocellatus*

分布域

原産地は中国揚子江以南・台湾。
今では日本全国に分布する。

生息域

流れの緩やかな河川、湖沼・水路など止水域を好む。



青色の強い大型のオス。大野市産

日本に移入されたものは、原産地が中国の揚子江中流域とされる。腹鰭の前縁に濃い白色帯があり、近縁のニッポンバラタナゴと識別が可能。体高は高く著しく側扁する。オスの体形や婚姻色には明らかに地域差・個体差が認められる。止水域を好む。食性は雑食性で水草や付着藻類・底生動物などを広く食べる。産卵期は春～秋と長く、オスは母貝を中心に縄張りを形成する。母貝に選ぶ貝の種類や大きさは、あまりこだわりをみせない。1回の産卵で1～60個の卵を産む。繁殖力は極めて強い。今では日本全国に生息し、在来のタナゴと競合する。

水槽での飼育は容易。餌は配合飼料に慣れ観賞用に多く飼育される。

外来種

純淡水魚

※福井県内に比較的多く生息する。繁殖力が強く、在来種のタナゴの生息地に移入されると有力種となる可能性が高い。滋賀県では県条例で飼育が禁止され自然界でほとんど見られない。